

独立行政法人日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社 KSP(代表者名: 田邊 中、以下「当社」)は、このたび独立行政法人日本学生支援機構(以下、「同機構」)が発行するソーシャルボンド(第 71 回日本学生支援債券、以下「本債券」)への投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト(ソーシャルプロジェクト)の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるムーディーズ・ジャパンからセカンド・パーティー・オピニオンを取得しております。

本債券の発行による調達資金は同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽²⁾の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社は、人々が自身の営みに集中し、様々な社会活動がスムーズに送れるよう、警備サービスを通じて安全で安心な環境を創り出しています。更なる高品質な警備サービス提供のために、次世代育成や女性活躍推進宣言を実施するなど、社内環境の改善に努めています。

社内の人材だけではなく、今後の社会を担う学生の支援を目的として、このたびの投資に至りました。当社は、本債券を始めとした ESG 投資を継続することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	第 71 回日本学生支援債券
年 限	2 年
発行額	300 億円
発行日	令和 5 年 6 月 7 日

(1) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと